



令和5年度『定例総会』開催

柘植地域 まちづくりだより 第294号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
2023(令和5)年七月一日(土)

柘植地域俳句コーナー
一声の
雉振り仰ぐ
草刈女
橋本 秀子

5月31日(水)午後8時から柘植地域まちづくり協議会 令和5年度『定例総会』を市民センターホールに於いて開催しました。

コロナ禍の状況下、此の3年間の『総会』は全て「書面表決」であった為、今般は、4年振りに対面参集方式と為った次第です。冒頭、宮田会長挨拶後、議長選出決議があり、上村区の中島区長が選出されました。

「議案書」の議事内容として【第1号議案】「令和4(2022)年度・決算報告、会計監査報告、事業報告」が有り、各々事務局長、監事、当該部長・委員長から昨年(令和4年度)の決算報告・監査報告・事業報告を行いました。

続いて【第2号議案】「令和5(2023)年度事業計画(案)・予算(案)を事務局長、各部長・委員長より説明。以上を以って全ての議案内容を報告。其の後、議長より第1号議案・第2号議案に対する承認可否の決議に移り、結果、出席者(総会構成員)の拍手多数に拠り承認されました。

本総会の総会構成員数¹34名/出席者総数

63名、「委任状」提出者数67名に尽き、本総会議案は【第1号議案】【第2号議案】共可決された次第です。(写真は来賓挨拶中の伊賀支所・杉野支所長)

◆令和5年度第3回『12区連絡協議会』

今年度第3回目と為る『12区連絡協議会』(区長会)を6月9日(金)開催しました。

冒頭、「伊賀堆肥センター増設工事に関わる地区説明会」と題し、伊賀ふるさと農業協同組合から、営農部 川瀬部長・椿次長等4名が来所。本件概要説明が有りました。増設工事場所は、中柘植地内に在るJAいがふるさと堆肥センターの隣接地。増設する堆肥舎には、1次発酵槽・2次発酵槽が在り「臭気対策」として、「オゾン脱臭装置」を設置する旨の説明が有りました。

続いて、伊賀市選挙管理委員会・伊賀支所から、「伊賀市柘植財産区議会議員」の4年に1回の改選年に伴う選挙に関する説明が有りました。

令和5年8月9日を以って任期満了と為る「柘植財産区議会議員」改選要領は、左記通りです。

【議員定数】11名 (改選議員数・11名)

【議員任期】4年

【選挙告示日】令和5年7月25日(火)

【選挙執行日】令和5年7月30日(日)

◆立候補予定者事前説明会

【日時】令和5年6月30日(金) 15時～

【場所】柘植地区市民センター

◆立候補届出書類の事前審査

【日時】令和5年7月14日(金) 13時半～

【場所】伊賀支所 17時迄

■令和5年『夏の交通安全県民運動』

【期間】7月11日(火)～7月20日(木)

【街頭啓発】7月11日(火)と7月20日(木)

両日共、午前7時半～8時半/管内主要交差点にて ▼7月11日(火) 広報車巡回予定

■伊賀市地区別人口【住民自治推進課】

令和5年3月末現在の伊賀市地区別・男女別人口集計を左記に示します。

柘植地区・・・31,581人(男15,371人/女16,210人)

伊賀市の人口は、8万6,418人(男4万2,498人)

女4万3,920人

【伊賀市・人口動態】

▼伊賀市の人口は、1960年代に於いては減少傾向だったが、1970年代の高度経済成長長期以降に人口増加に転じ、其の後1990年代後半迄人口増加が続き、一定水準が維持される高原状態が続き、2005(平成17)年の10万2,277人をピークとして、現在迄人口減少が続いて居ます。高齢化率は33%と、3人に1人が65歳以上の高齢者と成って居ます。

■芭蕉翁献詠俳句等募集について

伊賀市長 岡本 栄

(公) 芭蕉翁顕彰会 会長 岡島 久司

芭蕉翁の命日、10月12日に毎年『芭蕉祭』を挙行し、本年77回を迎えるに際し、芭蕉翁を敬慕する方々からの御投句を、翁の霊前に奉献致します。お一人でも多くの方々が投句されるよう願っております。

◆◆芭蕉翁献詠俳句《募集要項》◆◆

【応募締切】左記何れも7月31日(月)必着

【募集作品】①一般の部・季節は問いません

②テーマの部・・・「和」

《英語俳句の部》

【募集作品】季節は問いません

《連句》

【募集作品】作品形式は「半歌仙」で芭蕉の句を発句とした脇起。独吟は不可です。

《児童・生徒の部》

【応募締切】9月4日(月)必着(絵手紙も)

【募集作品】季節は問いません。

《絵手紙》

【募集作品】15cm×10cm(はがきサイズ)用紙使用、作品テーマは「芭蕉さんに宛てた絵手紙」です。画材・彩色は自由です。



◆◆夏花壇に衣替え◆◆
柘植駅前環境整美



5月27日(土)午前、駅前花壇の整美作業を有志(産業交流・公共交通等関係者含む)で行いました。約10名で心を込めて作業しました。今年度も駅構内の美化作業も含め行いますので、よろしくお願いします。鉄道やバスの拠点、伊賀市の玄関口としての柘植駅活性化についてもご意見ください。(公共交通の在り方検討委員会 委員長 川口裕司)

【サークル・教室紹介】第18回

●○いがまち囲碁同好会 ●○

会長 岡島栄一

まずは囲碁の魅力について紹介して行きたいと思います。

【創造性】 盤上の交点ならどこに打ってもよい自由なルールで「かたち」を創り上げていくのが囲碁です。破壊や征服を目的とした他のゲームには無い創造性があります。

【医学的実証】 囲碁は右脳を刺激し、判断力を高め、ストレス解消に効果があります。更には、ポケ防止等にも注目されています。

【コミュニケーション】 囲碁は子どもからお年寄りまで誰でも生涯楽しめ、年代を越えたコミュニケーション、地域社会に於けるコミュニケーション、世界各国との交流に大変役に立ちます。

【子どもの教育】 囲碁は「集中力」を身につけ、「バランス感覚」を養うことで物事の価値判断をする練習になり、子どもの人格形成に役立ちます。

自分の考えで打った碁の勝ち負けは自分の責任で自己評価しなければなりません。この勝ち負けによる喜び、悲しみの葛藤が子どもたちを大きく成長させ「生きる力」を養うチャンスにもなります。

そして、何より大事なものは、囲碁で子供同士や年代を越えた人と接することによって「人を思いやる気持ち」「感謝の心」が

芽生えてくることです。私たち同好会は、亀山 泰顕さん「右の方」を講師に迎え、毎月第3日曜日13時から、市民センター和室で練習会を行っています。木の碁盤に「パチン！」と鳴る石の音はなんとも心地の良いものです。さあ、あなたもさっそく囲碁をはじめてみませんか？



【様々な特技を持つ柘植の人々】
《第3回》 松山 彰宏さん

今回登場戴く方は、小杉の松山彰宏さん(54歳)です。名張市夏見に在る(株)カインド・ファシリティーズの取締役で建築物の総合管理・建設業に従事されています。併せて、「伊賀市消防団」に29年前から、在籍され様々な活動を展開。現在副団長を務められています。消防団員数は40人余り



居り消防活動・搜索活動・啓蒙活動・訓練有事に備えた資機材の配備等々、消防団の活動は多岐に及びます。

其の様な種々様々な活動が評価され、令和3年に、「消防庁長官 永年勤続功労章」を受章。そして今般、令和5年4月、公共の利益に功績著明な人に、国から授与される「藍綬褒章」を受章されるに至りました。三重県内で10人、伊賀市で一人の褒章と成った次第です。

常に危険が伴い、24時間何時出勤を余儀無くされるか判らない大変な消防団の活動



ですが、今後共、無事に職務を全うされん事を祈念する次第です。写真奥が「消防庁長官章」手前が「藍綬褒章」の掲額。

☆☆ 編集後記 ☆☆

「楽しさや青田に涼む水の音」松尾芭蕉
へ貞享5(688)年9月30日を以って元禄に改元。其の年、芭蕉45歳の作。奈良県当麻町辺りで詠んだ句。歩くしか交通手段の無かった時代、汗を流し乍らの旅はしんどく、ひと休みした木陰のそばには青田が広がり田んぼを潤して流れる水音が「楽しさや」と聞こえたのでしよう。

「一点の偽りもなく青田あり」山口誓子
青田のあぜ道を歩くと苗の匂いが立ちのぼり、豊かな緑は夏空の下に輝く様な美しさ。照りつける太陽の下、ぐんぐんと音さえ聞こえそうな勢いで伸びる青田の稲穂。此処は一点の偽りも迷いも無い世界だ。

▼7月「文月」梅雨が明けるといよいよ夏本番。令和5年も早折り返し点通過。7月23日が「大暑」8月8日「立秋」9月23日「秋分」と慌ただしく時節は到来します。

▼昭和20(45)年終戦。戦後30年目の昭和50(75)年に日本は早くも「G5」先進国首脳会議入り「米・英・仏・日・西独」翌97年、伊・加を加え「G7」主要先進国と成り世界を主導するも、中国の台頭、ロシアの暴虐で世界は再び混乱。民主主義国と独裁国家のせめぎ合いは再々度世界大戦の危機を孕み世界は未だ安定せず混乱。独裁者の末路は如何なる物でしょうか。(清水)